



第66期 | 中間 |  
株主通信

2022年4月1日 ▶ 2022年9月30日

亀田製菓株式会社

証券コード 2220

## ● 株主の皆様へ

“Better For Youの食品業”への進化を目指し、国内米菓事業、海外事業、食品事業の3本柱の確立に取り組んでいきます。

代表取締役会長 CEO  
ジュネジャレカラジュ



代表取締役社長 COO  
高木政紀

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当グループは、中期経営計画において、食品業界を取り巻く環境変化を踏まえ、“美味しく からだに良いものを選び、食べ、楽しむ、健やかなライフスタイルへの貢献”を示す“Better For You”の観点からお客様価値を提供し、長期ビジョン「グローバル・フード・カンパニー」の実現を通じて持続的な成長と企業価値向上に向けた取り組みを進めています。2030年度には“あられ、おせんべいの製菓業”から“Better For Youの食品業”へと進化することを目指しています。

2023年度までの中期経営計画期間において、国内米菓事業、海外事業、食品事業の3本柱でしっかりと立ち、特長あるグローバル企業としてビジョンの実現を目指すとともに、新型コロナウイルス感染症を契機としたお客様の行動様式の変化など、環境変化に対して中長期視点で構造改革を実行し、持続的な成長と企業価値の向上をより確かなものとするために取り組んでいます。

2022年度は、環境変化への迅速な対応と構造的な課題解決への取り組みを通じて、筋肉質な経営基盤の構築に取り組んでいます。また、お客様目線で“Better For You”を実現する新価値商品による需要創造で、持続可能なグループの成長を目指しています。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### 連結業績ハイライト (第2四半期)

売上高	46,020百万円 前年同期比 16.1%増
営業利益	1,691百万円 前年同期比 33.9%増
経常利益	2,989百万円 前年同期比 91.7%増
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,865百万円 前年同期比 8.2%増
中間配当金	15円

# 上期業績



## 国内米菓事業

国内米菓事業については、工場火災により操業を停止していた同業他社が市場復帰を図る中、夏場に一時的な減速は見られたものの、総じて強い引き合いが続いています。当社は、お客様の米菓離れを防ぐ観点からも、商品の安定供給を最優先に、一部新商品の発売やキャンペーンの見送りなど、主力商品の供給に集中することで、供給量の最大化を図りました。販売面では成長チャンネル等への経営資源の集中や、SFA・モーショボードなどデジタル化推進により、営業活動の効率化に取り組んでいます。

これらの取り組みの結果、主力ブランドの売上高は「亀田の柿の種」「ハッピーターン」「つまみ種」「亀田のまがりせんべい」「ぼたぼた焼」「うす焼」「技のこだ割り」「ソフトサラダ」「手塩屋」「海苔ピーパック」が前年同四半期を上回った一方で、「無限エビ」「こつぶっこ」は昨年10月に実施した値上げの影響が残り前年同四半期を下回りました。

## 海外事業

海外事業については、北米のMary's Gone Crackers, Inc.は商品ラインアップの拡充により大幅に増収、タイのSingha Kameda (Thailand) Co., Ltd.およびカンボジアのLYLY KAMEDA CO., LTD.はクロスボーダー取引の拡大による増収、さらには前年に連結子会社化したベトナムのTHIEN HA KAMEDA, JSC.の売上高が寄与した結果、売上高は前年同四半期を上回りました。

## 食品事業

食品事業については、防災意識の高まりを背景とした長期保存食の安定的な需要に加え、個人を中心にネット通販での需要が底堅く推移するとともに、新型コロナウイルス感染症の第七波もあり、各自治体による在宅治療支援物資に採用されるなど総じて強い引き合いが続いています。また、株式会社タイナイのアレルゲン28品目不使用の米粉パンへの関心は、輸入小麦の価格高騰を受けてより一層高まっており、その期待に応えるべく、生産機能の移転集約など生産能力の増強にも取り組んでいます。また、植物性乳酸菌についても、他社との差別化を図り、

事業拡大に取り組んでいます。その結果、売上高は前年同四半期を上回りました。

以上の結果、全社の売上高は46,020百万円(前年同四半期比16.1%増)となりました。

営業利益については、単体米菓事業において同業他社の工場火災による操業停止を受けた代替需要に伴う増産および商品の絞り込みも含む生産性改善に取り組んだものの、急激な円安、原材料価格やエネルギーコストの高騰が当初の想定を上回る推移となり、減益となりました。一方で、これまで新型コロナウイルス感染症による業績悪化に見舞われていた百貨店向けや土産物を扱う子会社が、行動制限の緩和による市場の回復を受け、大幅増益を確保しました。これらの結果、国内米菓事業は増益となりました。なお、単体米菓事業においては、原材料価格やエネルギーコストの高騰に対応するため、2023年1月より一部商品の価格改定および規格変更を予定しております。

海外事業については、グループ各社で原材料費や輸送費の高騰に対して調達の見直しや生産効率改善に取り組んでいます。Mary's Gone Crackers, Inc.では原材料費の上昇に加え、新商品導入に伴うコスト増の影響で減益となったものの、Singha Kameda (Thailand) Co., Ltd.およびLYLY KAMEDA CO., LTD.の安定した事業運営、THIEN HA KAMEDA, JSC.の連結子会社化により営業損失は前年から縮小しました。

食品事業については、長期保存食において個人向けのネット通販に加え、小売流通、企業備蓄など幅広く需要が高まったことを受け、増益となりました。

これらの結果を踏まえ、全社の営業利益は1,691百万円(前年同四半期比33.9%増)となりました。

また、持分法適用関連会社であるTH FOODS, INC.の持分法による投資利益の増加に加え、急激な円安に伴う一時的な為替差益が発生した結果、経常利益は2,989百万円(前年同四半期比91.7%増)、前年同四半期のTHIEN HA KAMEDA, JSC.の連結子会社化に伴う段階取得に係る差益を計上した反動減で、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,865百万円(前年同四半期比8.2%増)となりました。



いつでもカリッと! 亀田の柿の種

亀田製菓の工場見学

柿の種ができるまで

カリッとした食感と香ばしさ、絶妙なピーナッツとのバランスでおなじみの亀田の柿の種。そのおいしさはどのように作られているのでしょうか。亀田の柿の種ができるまでを、見てみましょう！

詳細はウェブサイトをご覧ください

[www.kamedaseika.co.jp/knowledge/factory/](http://www.kamedaseika.co.jp/knowledge/factory/)



工程全体の流れを  
見てみよう！



STEP 1



蒸米

米粉を高温で蒸してこねる

STEP 2



練り・成型

カリッと食感の決め手を作る

STEP 3



冷蔵

生地をしっかり冷やして安定させる

STEP 4



切断

高速カッターで1秒間に1,500粒

STEP 5



乾燥

生地に残る水分を適度に飛ばす

STEP 6



焼き

200～300度の熱風で焼き上げる

STEP 7



味付け・乾燥

しょうゆベースの秘伝のタレで味付け

STEP 8



選別

規格外のものをしっかり取り除く

STEP 9



ピーナッツ充填・個包装

柿の種の相棒がいよいよ登場

STEP 10



パッケージ化

大袋に詰めて「亀田の柿の種」が完成！





## 亀田製菓の品質への取り組み

お客様に「健康」「おいしさ」「感動」をお届けするため、安全で安心な製品づくりに、日々、力を注いでいます。



詳細は当社ウェブサイトをご覧ください

[www.kamedaseika.co.jp/quality/](http://www.kamedaseika.co.jp/quality/)

YouTubeでも公開中!



## 私たちが大切にしていること



工場長

もっとも大切にしているのは、常に安定した品質の亀田の柿の種をお客様に届けるということです。季節の変化や原料の状態によって仕上がりに違いが出てしまわないよう、年間で取ったデータをもとに機械を調整することで、同じおいしさが保たれるようにしています。これからも、お客様に「これこそ亀田の柿の種!」とっていただけるような高い品質にこだわってまいります。

パッケージ化の際に充填した窒素が漏れていないか、接着時のズレがないか等をチェックしています。食味検査も担当し、味はもちろん形や色艶も厳しく確認します。お客様に安心して食べていただけるよう、見た目の美しさにもこだわって取り組んでいます。



検品担当



食味検査員

食味検査は、柿の種を手に取りかおりを確認した後、口に含んで味や食感などを確認します。亀田の柿の種の特徴である程よい辛み、カリッとした食感を守るため、少しの異常も見逃さないという強い意識で取り組んでいます。

# K A M E D A の サ ス テ ナ ビ リ テ ィ



## サステナビリティ基本方針

亀田製菓グループは、“Better For You(美味しく からだに良いものを選び、食べ、楽しむ、健やかなライフスタイルへの貢献)の食品業”への進化を通じて、持続可能な社会の実現に資する企業グループとしての成長に向けて取り組んでいきます。

### サステナビリティに対する主な取り組み

#### 気候変動への対応

- TCFDへの賛同(2021年11月)
- 亀田製菓4工場において都市ガスへの切り替え
- 亀田製菓亀田工場において再生可能エネルギーを導入(2022年8月)
- モーダルシフトの推進

温室効果ガス排出量  
(2030年度目標)

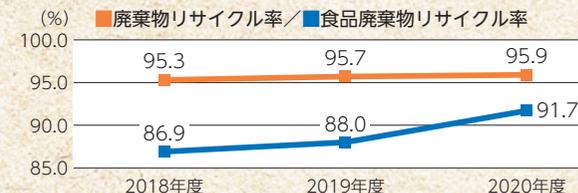
40%削減

(Scope 1,2,2017年度比)



#### 食品廃棄物の削減

- エコフィード活動(米菓くずの飼料化)
- フードバンクへの商品の寄贈



#### プラスチック使用量の削減

- ECOパッケージ化の推進(パッケージのスリム化、プラスチックトレイの廃止等)

プラスチック使用量  
(2030年度目標)

30%削減  
(2017年度比)



#### 調達

- RSPO加盟(2019年3月)
- 亀田製菓全商品にFSC認証段ボールを使用
- 亀田の柿の種の原料として、日本酒用の精米時に出る米の削りかすを使用



## 国内米菓事業

### 亀田製菓 ネットショップがリニューアル 2022年9月

2013年7月のオープン以降、多くのお客様にご愛顧いただいた『亀田製菓 ネットショップ』がこの度、より“楽しさ”をお届けできるお店を目指して、『亀田製菓 通販いちば』としてリニューアルオープンいたしました。楽しみながらお買い物をしていただけるデザインに生まれ変わった『亀田製菓 通販いちば』に是非お立ち寄りください！



とよす株式会社

### 日本初カレーせんべい専門店オープン 2022年6月

日本初カレーせんべい専門店「カレーのくち」の1号店が阪神梅田本店にオープンいたしました。

「カレーのくち」は柿の種専門店「かきたねキッチン」を生み出した、米菓のとよすが新たに挑戦する新専門店業態です。ブランド名である「カレーのくち」とは、「カレーを無性に食べたい！」の気分を表した関西地方独特の表現です。カレーのスパイシーな香りが漂う時、ふとした瞬間にカレーが食べなくなった、「カレーのくち」になっているお客様に専門店のこだわりのカレーせんべいをお届けしたい、という思いを込めて名付けました。



## 食品事業

尾西食品株式会社

### 水がなくても食べられる！ 1食で野菜もとれる5年長期保存食 2022年9月

スプーン  
付き

災害時などの避難生活が長期化すると、慣れない環境でのストレスによる食欲低下や、ごはんやパン、麺など炭水化物を中心とした食事が続き、野菜やおかずが不足しがちで健康を維持できなくなることが予想されます。「一汁ご膳」は、野菜がごろっと入ったレトルトスープとアルファ米がセットになっており、1食でごはんも野菜もとれる製品です。

また、レトルトスープをアルファ米に注ぎ、炊き込みご飯風にすることで、お湯や水がない時でも食べることができます。スプーンが入っており、外箱を組み立ててセットすれば、片手で持つことができお膳の代わりにになります。



祝！昇格！！

### 「アルビレックス新潟」 J1リーグ昇格をお祝い

1996年からユニフォームスポンサーとして応援しているプロサッカークラブ「アルビレックス新潟」が5年振りのJ1リーグへ再び咲き。サポーター、新潟県民の皆様、私たちスポンサー企業にとって、まさに「幸せが戻ってきた！」ものであり、その祝福の意味を込めて、同クラブに「ハッピーターン」10年分を贈呈いたしました。

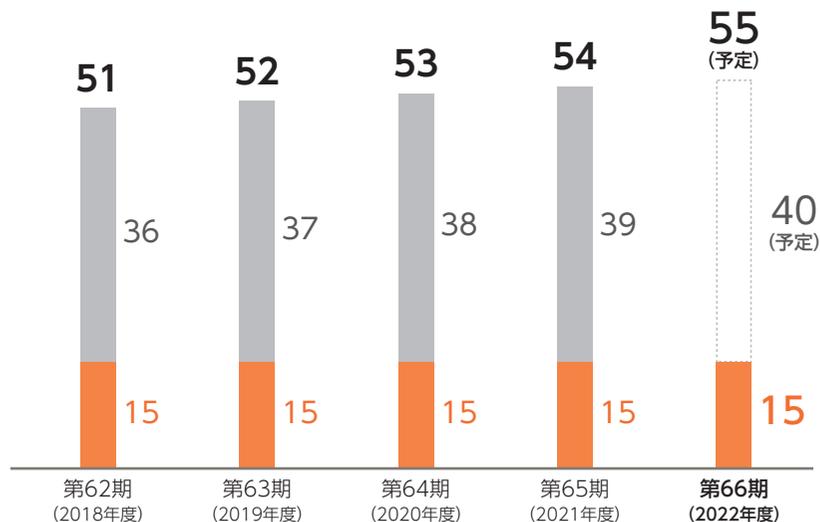


(写真左) アルビレックス新潟 キャプテン 堀米 悠斗選手  
(写真右) 亀田製菓 代表取締役社長 COO 高木 政紀

## 配当金のご案内

1株当たりの配当金 (単位:円)

■ 中間配当 ■ 期末配当



■ 中間配当金 15円

■ 期末配当金 40円 (予定)

2022年度  
1株当たりの  
配当金 55円 (予定)

当社は、「グローバル・フード・カンパニー」の実現に向けた国内外での投資と株主の皆様に対する利益還元のバランスを考慮しながら、中期経営計画を実行し収益の拡大を図り、利益配分を安定的に拡大することを目指してまいります。また当社は、中間配当と期末配当の年2回の剰余金の配当を行うことを基本方針としております。

## 株主様へのご優待

**贈呈対象** 毎年9月30日現在の100株以上ご所有の株主様に、当グループ製品の詰め合わせを贈呈させていただきます。

**贈呈時期** 12月中旬頃

100~999株をご所有の株主様



■ 1,000円相当の詰め合わせ ■

1,000株以上をご所有の株主様



■ 3,000円相当の詰め合わせ ■

※画像は詰め合わせ製品例です。

(注)住所不明および長期不在等により当社に返送されました優待品については、2023年2月28日まで保管しております。万一、株主様のお手元に届かない場合は、お申し出がありましたら再送させていただきます。保管期限経過後については再送に応じかねますのでご了承ください。



## ■ 会社概要 (2022年9月30日現在)

商号 亀田製菓株式会社  
 設立 1957年8月26日  
 資本金 19億4,613万円  
 従業員数 1,469名(連結 3,860名)

## ■ グループ会社 連結子会社 18社 ●連結子会社 ●持分法適用関連会社

国内 連結子会社 **10社**

海外 連結子会社 **8社** 持分法適用関連会社 **2社**



## ■ 株式情報 (2022年9月30日現在)

発行可能株式総数 59,251,000株  
 発行済株式の総数 22,318,650株  
 株主数 14,795名

### 株主分布状況



## ■ 株主メモ

株主名簿管理人  
 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号  
 みずほ信託銀行株式会社  
 同連絡先  
 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部  
 〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4  
 電話 フリーダイヤル 0120-288-324

株主総会資料の電子提供制度(書面交付請求)についてのお問い合わせ  
 お取引の証券会社または下記みずほ信託銀行までお問い合わせ願います。  
 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部  
 電子提供制度専用ダイヤル 0120-524-324  
 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)

IRサイトのご案内

亀田製菓公式サイト「IR情報」にて、IR情報やニュースリリースなど最新の情報をご覧いただけます。  
[www.kamedaseika.co.jp/ir/](http://www.kamedaseika.co.jp/ir/)

ぜひアクセスしてください。



## 亀田製菓株式会社

〒950-0198  
 新潟県新潟市江南区亀田工業団地3丁目1番1号  
 電話 025-382-2111 (代表)  
[www.kamedaseika.co.jp](http://www.kamedaseika.co.jp)



この報告書は、環境に配慮し、ベジタブルインキを使用しています。